Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第17号
平成16年11月3日
（2004年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　0424-64-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



「いらっしゃ〜い！」

中村優子さん（南町在住）の作品

ひ孫さん（中村さんのお子さん）を抱きながら、野菜直販所の店番をする中村さんのお祖母さんとご主人のお祖母さんです。

平成16年 第3回 定例会

工事請負契約の締結に同意
―（仮称）西東京市体育館建設工事始まる―

9月7日から24日まで開催した第3回定例会では、（仮称）西東京市体育館建設に関する工事請負契約の締結議案2件に全会一致で同意しました。建設工事は10月上旬に着工し、平成18年度当初のオープンを目指します。

第3回定例会では、このほか市長提出議案14件、議員提出議案6件の審議、議決を初め、請願・陳情の審査、一般質問等を行いました。

一般質問は、26人により3日間行いました。

市長から提出された議案は、初日に「工事請負契約の締結について」2件を同意したほか、補正予算8件、条例改正等6件については、それぞれ予算特別委員会、または各常任委員会の審査を経て14件すべてを可決しました。

また最終日には、平成15年度決算の認定に関する議案8件が提案され、決算特別委員会を設置して付託の上閉会中の継続審査としました（開催の詳細は8面）。

皆様から提出された請願・陳情は19件で、継続中の8件を含めて各委員会で審査し、本会議で11件を採択（うち趣旨採択3件）、9件を不採択、6件を継続審査としました。

議員提出議案は、5件を可決、1件を否決し、可決した5件を関係機関に送付しました。

紙面の紹介

一般質問……2面〜5面
予算特別委員会の主な審査状況
常任委員会視察……6面
常任・特別委員会の主な審査状況
意見書……7面
議案の議決結果、請願・陳情の結果、
写真公募の結果、編集後記……8面

議会日誌（平成16年7月〜9月）

7月
16日 議会報編集委員会

8月
23日 文教委員会
25日 議会運営委員会
30日 全員協議会

9月
2日 議会運営委員会
7日 第3回定例会・本会議（閉会中委員会審査報告、議案等上程〜付託）予算特別委員会、議会報編集委員会
8日 本会議（一般質問）
9日 本会議（一般質問）
10日 本会議（一般質問、請願・陳情上程〜付託）、議会運営委員会
13日 企画総務委員会、厚生委員会
14日 文教委員会、建設環境委員会
15日 駅周辺再開発等特別委員会
16日 予算特別委員会
17日 予算特別委員会
24日 本会議（緊急質問、委員会審査報告、議員提出議案等上程〜議決）、議会運営委員会、決算特別委員会
28日 駅周辺再開発等特別委員会

声の議会報をお届けしています。 お知り合いの方でご希望される方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎65-0823）へお問い合わせください。

凡例
西東京市議会公明党（公明）　民主党西東京（民主）
日本共産党西東京市議団（共産）　自由民主党（自民）
自由民主党西東京市議団（自民西）　市民クラブ（市ク）
生活者ネットワーク（生ネ）　無所属（無所属）

一般質問（1）


「お花大～好き」伊藤富美子さん（富士町在住）の作品

愛国の心をはぐくみ 真の民間外交を！

鈴木　久幸（自民西）

読売新聞の社説に「愛国心の涵養は国家主義とは全く別の問題なのだ。それなのに5年前の国旗・国歌法制定に際しても、一部のイデオロギー勢力が近隣諸国に対する侵略戦争のシンボルだったなどと日の丸・君が代への敵がい心をあおった。そもそも愛国心の涵養が是か非かなどというのは、諸外国ではあり得ない議論だ。不毛な論争は終わりにしたい」とあった。私はこの内容に同感するものである。今回のオリンピックの表彰式で、日の丸が揚がり、君が代が流れ、胸を張り自信に満ちた選手の顔を見て、感動で目が潤んだ。閉会式では、お互いの健闘をたたえ合い、認め合う姿があった。友好とは、全力で主張し、そして相手を理解することから始まると改めて感じたアテネ大会だった。

質問　国際交流事業の現状と、海外の都市と友好都市関係を結ぶ考えは。

市長　外国人の日本語習得の支援、異文化理解のための講習会等を進めている。国際友好都市については今後検討したい。

質問　公園管理協力団体等と市のかかわり方について。

市長　公園ボランティア組織との協働により公園管理を進めている。引き続き組織の拡充を図っていきたい。

介護サービスを低下させるな はなバスルートの充実を

大川　真理（共産）

質問　国による介護保険制度の見直しで、要支援、要介護1の利用者に対する介護サービスのあり方が変わろうとしている。市としての対応を問う。

答弁　11月にアンケート調査する。

質問　要支援、要介護1の方への予防給付とは何か。

答弁　筋力向上トレーニング、転倒骨折予防などで、具体化はされていない。

質問　特養ホームなど施設サービスでは居住費、食費を自己負担にすることが検討されている。払えない利用者に市として援助する考えはないか。

答弁　低所得者への対策は国で総合的に検討されることになっている。

意見　対象者を1人の人間として尊重し、適切なプランのもとに、本人、介護者が希望するサービスを利用できるようにすることが市の役割ではないか。

質問　はなバス第5ルートをひばりヶ丘駅から西武バスの西原車庫まで延長できないか。

答弁　既存バス路線と競合するため、難しい。

質問　公共施設や医療機関を通るルートの検討はされているのか。

答弁　見直しは行うが、公共交通空白地域を優先に考えている。


新規路線を運行したはなバス（ひばりヶ丘駅北口）

市民サービス低下はやめよ 市民生活分断の道路は中止を

倉根　康雄（共産）

質問　導入に当たって最も危惧されるのは、市民サービスの低下である。

　地区会館やコミュニティセンター・市民集会所は、施設の維持管理を含めた地域性がより重要視されるべきで、指定管理者制度に移行するメリットは少ないのではないか。

答弁　課題を整理・検討中。

質問　保育における公共性とは、責任ある公的な設置主体が保育の質を保障するための施設設備の基準を守りながら、資格を持った保育の専門家に実践を委託し、公費負担を原則に運営されることにある。

　この公共性を否定するような民営化はすべきでない。

答弁　保育サービス検討委員会で議論中。

3・3・3号線について

質問　28m幅道路による立ち退き問題や市民生活の分断についての見解は。

　石神井川をふたするようになるが、市の都市計画マスタープランで石神井川沿いを「親しみやすい水辺空間の整備」と位置づけていることとの整合性は。

答弁　現在、都から着手予定の話はない。実際に事業化された段階で検討する。

質問　都に地下化の提案を示した経過はあるのか。

答弁　ない。

保谷中学校の保護者を対象に 調布保谷線の説明会を

保谷　清子（共産）

質問　36m幅道路調布保谷線は、保谷中学校体育館の3分の1を削る計画だ。7月の体育館建てかえ説明会では、環境悪化を心配する声や「東京都を呼んで道路の説明会を開いてほしい」という要望があった。都に説明するよう求めよ。

教育長　環境悪化とは必ずしもならない。

質問　図書館周辺の地域とその他の地域とでは利用率に差がある。身近にあることが重要だ。高齢化社会を見据え、東伏見駅周辺に公民館・図書館建設を求める。

教育長　東伏見駅周辺は空白地域だ。現在の設置状況を踏まえた検討が必要だ。

質問　可燃ごみの収集回数が週2回に統一された。集積所のごみ量が多く、においがひどい。カラスの被害、不法投棄がふえているなどの声がある。調査と対策を求める。夏場のみ週3回にすることを提案する。

環境防災部長　収集回数増の要望は届いていない。現状どおり進める。

質問　介護保険制度の見直しで、ホームヘルプサービス事業を後退させないよう国へ働きかけよ。ホームヘルパーの養成講座・レベルアップ研修の拡充を求める。

保健福祉部長　見直しの具体化はこれからだ。事業の拡充は検討していきたい。

「商店街の活性化」と「学校飼育動物」について

小林　たつや（自民西）

商店街の活性化について

質問　①市が行う商店街援助事業の種類は。②統一された景観を持つ商店街整備についての考えは。

答弁　①商業振興プランに基づき具体化する。今年度は商工会合併記念として、スタンプラリー事業を行う。②市としての統一景観の可能性を探っていきたい。

意見　今後は共通サービス券の発行なども視野に入れた商店街の活性化を図ってほしい。また昭和30～40年代をモチーフにした、統一景観を持つ商店街の整備の可能性を模索してほしい。

学校の飼育動物について

質問　①学校教育としての考え方は。②夏休みの対応は。③鳥インフルエンザ対策は。

答弁　①飼育舎では鳥類やウサギ、教室ではハムスターやザリガニ、金魚等を飼育し、優しさや責任感を育てている。②子どもたちが当番制で面倒を見ている。③地元の獣医師会と連携し、飼育舎の清掃や消毒を徹底、子どもたちには事後消毒を徹底した。

意見　学校飼育動物は、生命への畏敬の念と尊重を学べる絶好の機会である。今後も獣医師会と連携し、学校飼育の整備に全力を尽くしてほしい。


生産緑地(芝久保町)

これでいいのかお年寄り対策 緑の確保、青少年健全育成

遠藤　源太郎（自民西）

質問　古来、年をとったら人様に迷惑をかけないようになどと引きこもりの風潮がある。今日まで培われたお年寄りの魅力や能力を発揮できる地域づくりを実践したか。

答弁　データでもその傾向を示している。支え合いネットワークを初め、各種の施策を実施する。

質問　農地の減少が進んでいる。保全策を講じたか。

答弁　農業振興計画に基づいた施策を行う。

質問　記録的な猛暑の中、緑が涼しさを醸し出している。市内の緑の保全策は。

答弁　公共施設の緑化に努め、民間にも協力依頼する。緑の大切さもPRしていく。

質問　遠くの緑は賛成、近くの緑は反対という風潮も根強くある。日陰、落ち葉、害虫の発生等のためだが、思考の転換に努力せよ。

答弁　市民が農業に参加する機会をふやし、理解や共通認識が持てるようにする。

質問　小中学生の校内暴力が増加傾向になったと報じられたが、本市の状況は。

答弁　全国的には62％の増加ということだが、本市では31件から24件に減った。

質問　夏休みを楽しく過ごし2学期を迎えた子どもたちに問題行動はなかったか。

答弁　各中学校からの報告では、夜間徘回などがあったが事件や非行はなかった。

一般質問（2）

国の財政赤字を地方に負担させるべきでない地方から声を

安斉　慎一郎（共産）

国庫補助負担金削減に反対を

質問　地方財政の三位一体の改革（税源移譲、国庫補助負担金と地方交付税の削減）で、西東京市は今年度15億円余の財源を失った。

地方六団体は平成17～18年度で義務教育費国庫補助負担金削減（8千500億円）など国庫補助負担金削減（総額3兆2千億円）を提案した。見解は。

市長　平成17～18年度で行うのは早急だ。

教育長　義務教育国庫負担金の堅持を市長会、議長会などに要望している。

中学校にも心身障害学級・通級学級などの増設を

質問　小学校心身障害学級と通級学級の増設の経費が補正予算に計上された。中学校分は計上されていない。

教育長　障害児教育検討懇談会の中間報告によった。

質問　懇談会で学務課長は「中学校の固定学級は田無一中、保谷中合わせて、平成13年度20人だったのが、平成16年度は30人になった。施設面で余裕がない」と、委員は「中学で進学を希望している。ちょっとがっかり」と言っている。

教育長　19年度に特別支援教育が始まると言われている。固定とか通級を確保しておかなければ対応できない。

中原小、ひばり中の建てかえを

葉原　時美（共産）

各教室にクーラーをつけよ

質問　保谷駅南口再開発に多額の予算を使いながら、子どもたちのためにクーラーを各教室に設置する予算をつけないのか。

市長　昨年度から扇風機の設置を始めて来年度で終わる。扇風機とクーラーでは財政的にもけた違いな金額だ。計画どおりやる。

教育長　来年度までに猛暑対策で校長室・職員室・事務室・保健室・図書室・パソコン教室にエアコンを整える計画だ。今年は健康上の理由から急遽2校で一部の教室に設置した。

洋式トイレに改修せよ

質問　市内各学校に共通している和式トイレを洋式トイレに全面改修せよ。

教育長　各学校と設備面のヒアリングを行った。緊急度の高いところから対応していかざるを得ない。

どうする老朽校舎

質問　雨漏りする中原小校舎をどうするのか。ひばりが丘中の建てかえ計画を来年度から着手せよ。

教育長　来年度から青嵐中の建てかえ工事が始まる。今後は、老朽化が激しい3校の昭和30年度の建物を順次計画的に建てかえを考えている。中原小は電気、給排水が劣化しており、建てかえを考えている。



「初めてトマトをガブッ！」中村麗子さん（谷戸町在住）の作品



授業を受ける児童（けやき小学校）

100億円余の記念公園等、開発優先の3年半余の市政を問う

高梨　功（共産）

3年余の保谷高範市政は開発優先、市民サービス切り捨て市政であった。

質問　合併記念公園に100億円余、保谷駅南口再開発に93億円余、リサイクルプラザに16億円余のお金をかける市政であった。開発優先の市政と言えるのではないか。

市長　大型開発優先市政ではない。

質問　開発優先の市政は開発にお金を使い、福祉や市民サービスの切り捨て、保育料や国民健康保険料等を引き上げることになったのではないか。

市長　切り捨てられたと言うが、合併して矛盾があったものを統一したということだ。

質問　まちづくり条例に関連して、新町の大規模工場跡地問題への対応は。

都市整備部長　条例化し大型空地の利用について検討する。石川島播磨重工業の移転に間に合うようにする。

再開発ビルに公民館、図書館を移設する方針は、市民説明会を実施したと言うが市民参加条例の否定だ。

質問　市民参加、市民参加と口では言うが、今回の住吉公民館と下保谷図書館の移設問題は全く市民参加ではない。「決定通知会」だ。

教育長　「通知会」ではない。



下校中の児童

リサイクルプラザ建設見直せ コミュニティ施策を問う

土井　節子（無所属）

市民派市長と与党会議

質問　市民派と名乗る市長が与党会議を開くことをどう考えるか。

答弁　与党会議を開催し、意見交換をすることは有益だ。

意見　地方議会は大統領制ですよ。

議員等の要望を公開せよ

質問　議員等公職にある者から受けた提言・要望は、必ず報告書を作成し、情報公開の対象にせよ。政治の透明性確保のため、我孫子市等では実施している。

答弁　先進市の事例を調査研究したい。

リサイクルプラザ建設

質問　建設予定のリサイクルプラザは、土地代10億円、建設費6億円、管理運営費4千900万円かかる。三多摩では多摩市にしかない。環境学習や情報提供は他の場所でも可能ではないか。2階の職員詰所は、職員数が減少する状況なのに必要か。

答弁　拠点施設として必要。

コミュニティ施策

質問　コミュニティ施設として、コミュニティセンター、地区会館、集会所等あるが、規模や管理に差がある。レベルアップを図れ。コミュニティ自治をどう考えるか。また、行政として何ができるか。

答弁　既存施設の活用を検討。行政は住民の後押し。

犯罪のない安全なまちづくり 条例施行・施策・検証

大塚　光男（自民）

近年異常ともいえる各種犯罪発生件数が急増し、市民生活が脅かされている。私は特に、青少年の健全育成、非行防止の観点から、市民だれもが安心して暮らすことができる犯罪のない安全なまちづくりと、子どもたちを地域で守り育てることを、議会と地域活動の中で一貫して提案、提言してきた。今年3月には犯罪のない安全なまちづくり条例が制定・施行されたが、その施策について検証も含めて質問した。

合併は市民の歴史的決断!! 検証・効果は広報で周知せよ

酒井　澄（自民）

今年度は合併4年目という特別な節目の年度、合併効果について伺う。

質問　人件費の削減効果は。

市長　3年間で職員100名、議員10名の定数減による22億円を含め、全体で28億を削減した。合併しなければこの削減額は人件費として使われていたわけであり、合併したことによって市民サービスに活用されたものと思っている。

質問　新市建設計画の進捗状況について。

市長　合併記念公園の17年度オープン等、主要4大事業を総額208億円をかけ推進している。

質問　市民白書について。

企画部長　市民1人当たりの市債残高は保谷が18万円、田無が19万円で、いずれも財政硬直化になっていない。

西武柳沢駅北口の環境改善について

質問　駅のバリアフリー化が実現する。北口周辺の段差解消等整備も進めよ。

都市整備部長　整備については17年度に対応する。

産業振興基本条例の制定について

質問　チェーン店の商店街未加入等が課題となっている。商店街等産業支援のため産業振興条例を制定せよ。

市長　商店街活性化で必要。

市民生活部長　懇談会の設置機会を設け、検討する。

答弁　市長みずから街頭に立ち、ビラを配布するなど、本市での犯罪の実態と防止策について市民に訴える。

答弁　警察と連携し、情報を市報などで提供する。ひったくりと侵入盗難防止をステッカーなどで呼びかけた結果、減少傾向にある。

答弁　パトロール養成講座に21人の参加があり、パトロールの実践も行った。

答弁　小中学生1万3千余人に防犯ブザーを配布した。現時点で被害届はない。

答弁　今後は、防犯推進協議会を中心に、市全体の課題を検討・協議しながら、さらに防犯意識の高揚を図るとともに、活動団体の育成・支援とネットワークづくりを目指し、行政組織の見直しを検討する。

一般質問（3）


「じゃましないで！」山本優子さん（柳沢在住）の作品

市長の政治姿勢、「青い鳥」補助金問題などを問う

相馬　和弘（市ク）

質問　西東京市が誕生して3年8カ月となる。「西東京市民白書」によれば「合併してよかった」と答える市民は4人に1人にとどまっている。今後の課題は。

市長　行財政改革と、市民と約束した事業を実行していくことが課題である。

質問　市長は市民参加と情報公開を公約に掲げたが、保谷駅南口再開発ビルに公益施設を移設する問題で、市長は説明会に参加をしていない。説明責任を果たしていないのではないか。

市長　庁内で調整しており、私の出番まで話が進んでいなかった。

質問　西原樹林会の設立に当たり補助金を不正受給した事件は起訴・裁判も結審して実刑が確定した。市はこの3年間補助金の支給を保留しているが、施設の先行きに不安の声が出されている。人道的立場、利用者保護の見地から補助金を支出すべきではないか。目黒区が支出できて、なぜ地元が出せないのか。

答弁　目黒区の損害賠償請求訴訟の動向を注視しているが、あくまで市の判断で支給をストップしている。

質問　市長は任期中やり残したことはあるか。

市長　保谷駅南口再開発事業である。


芝久保小学校

西武池袋線、新宿線の開かずの踏切対策の早期実現を

浅野　高司（自民）

質問　都は本年6月に踏切対策基本方針で、市内の池袋線2区間、新宿線2区間を「鉄道立体化の検討対策区間」に指定し、市と西武鉄道とともに積極的に進めるとしているが、市の対応は。

市長　都と協議をし、立体化を含め踏切対策を大きな検討課題としていきたい。

保谷駅周辺のまちづくり

質問　北口のまちづくりや南口の再開発の進展により、保谷駅周辺は大きく変わる。地下通路を整備することにより、北口の市民が図書館や公民館、店舗を利用しやすくなると思うか。

市長　悲願であるが困難。

質問　都道233号線、保谷駅前通りの壁面後退についての市の考えは。

市長　昭和50年代より14軒の方々に空間確保に協力をいただいている。適用困難なケースを除き、固定資産税の減免を実施する。

質問　コンビニ等夜間営業店における青少年の健全育成と、防犯対策の一環として協議会の設置の考えは。

市長　本部直営店の中に地元商店会とのかかわりを避ける店がある。行政として協力依頼を進めていく。

質問　障害児教育の今後のあり方と方針は。

教育長　他市に比較するとまだ低い。教育委員会として今後鋭意努力をする。


保谷駅南口

環境、三位一体の改革、地域防災、踏切対策

猪野　滋（市ク）

質問　都市景観の保全の計画や指針を定められないか。6月公布の景観法の評価は。

答弁　都市計画マスタープランに魅力ある景観形成を掲げた。法施行により、自然環境の保持やまちの状態の維持・伸長、創設に関する対策がとりやすくなる。

質問　三位一体の改革の影響と次年度の対策はどうか。

答弁　事業執行上の影響はないが、税源移譲の先送りや交付税縮減の先行など不十分な改革。地方六団体から地方の意見反映の担保や国と地方の協議会設置等を要望しており、11月頃に示されるという全体像を注視し、影響等を検討する。

質問　市民の防災意識の高揚と自主的な防災活動の育成について、個別・具体的な目標はあるか。テレビ番組の「ご近所の底力」を活用できないか。

答弁　「まちは自分たちで守る」という連帯意識の醸成に努める。防災市民組織の結成状況は58団体、1万2千998世帯。加入率16％を25％としたい。情報交換会により意見要望を聞く。

「ご近所の底力」は生かす。

質問　都が策定した踏切対策基本方針で4カ所が鉄道立体化の検討対象区間に選定された。市の取り組みは。

答弁　市町村主体の事業は、財源を含め、相当難しい。

「権不十年」！自分の言葉に責任を持て

森　輝雄（無所属）

質問　合併前後に、市長から何度も「権不十年」という言葉を聞いた。権力は10年もすれば知らず知らずのうちに腐敗するという意味だ。多選は好ましくないとの見識だと感心したが、この考えは今も不変か。

市長　旧保谷市での1期目の選挙時に言った。考えは変わらない。多選とは4期目とか5期目だが合併市の1年生市長だ。一般論は当てはまらない。

意見　合併直前の保谷市議会議事録に「権不十年の公約を果たさなければならない。まだ、2期8年だ」との記録がある。市長自身が言ったことだ。もう1期というのでは逆戻りになる。

議員等の口利きについて

質問　議員等から出されるさまざまな提言・要望等は公式に記録して、後々に残すことが必要だ。

市長　口頭等で報告させているが、我孫子市の事務取扱要領の制定や公表について調査・研究したい。

意見　どこから提案されて、どういう検討をされて実現しているのか、政策の決定過程が見えることによって市民は納得する。ぜひとも推進するべきだ。

質問　はなバス第5ルートは政治的圧力で決めたのか。

市長　道路整備等で遅れたが、当初の計画ルートだ。

公立小中学校に緑のカーテン（壁面緑化）を

中田　恵美子（公明）

質問　近年の地球温暖化等による暑さで、夏場の教室は学習環境として不適切である。板橋第七小学校で行っている緑のカーテン（壁面緑化）をモデル校としてスタートさせないか。

答弁　来年度あたり、モデル校としてできるように研究していく。

質問　インフルエンザ予防接種の公費負担を乳幼児にもすべきではないか。

答弁　国の動向を注視し、慎重に検討する。

質問　国の事業で、伝統的な文化を子どもたちが体験できる、伝統文化子ども教室がある。当市でも茶道・華道・舞踊連盟が今年度行っている。市民に広くアピールすべきではないか。

答弁　各団体で伝言板の利用等ご努力いただいている。

質問　文化芸術の窓口が社会教育課と生活文化課に分かれている。窓口を新たに設置すべきではないか。

答弁　それぞれに目的が違う。教育委員会と協議し、慎重に検討する。

質問　シルバー人材センターの会員の4割が就労していないと聞いている。今後の計画を問う。

答弁　今年度から、パソコン関係事業の取り組みを行っていると聞いている。これからも高齢者の生きがいと就労の確保に努める。

ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を

小幡　勝己（公明）

質問　中学生ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を図れ。

答弁　勤労観・奉仕の精神の育成は非常に大切である。

質問　中学校外注弁当方式の今後の取り組みは。

答弁　年度内の早い時期に値段、ご飯の量の選択、おかずだけの注文、空弁当回集方法などについて、業者とも協議しながら改善し、喫食率を少しでも上げたい。

質問　介護者の心身に対する負担の軽減や健康維持、介護技術の向上など、介護者に対する支援を今後一層充実せよ。

答弁　現在、市民介護講習会を実施している。心のケアは介護制度の充実と同じく大切である。どのような仕組み、システムが必要かさらに検討していく。

質問　田無病院前道路の整備計画は。

答弁　都市計画道路として平成20年から2カ年事業として整備していく。

質問　カクタス教習所南側道路の今後の整備計画と安全確保について。

答弁　警察と協議しながら安全確保と整備を進める。

質問　指定外業者による資源ごみ持ち去り対策としての条例改正の考えは。

答弁　現状を把握し、他市の状況も参考としながら今後研究していく。

一般質問（4）

自立して生きるために 介護予防の更なる推進を！

岩越　笙子（公明）

介護予防の推進について

質問　健康づくりとリハビリが保健・医療・福祉と別々で利用しづらい。利用しやすい介護予防システムの確立と個人に合った介護予防プログラムの作成が必要だ。

答弁　リハビリが総合的に展開できるよう、6月に庁内に地域リハビリテーション検討委員会を設置した。個人の介護予防の対処プログラムも検討していく。

質問　筋力トレーニング実施のための環境整備は。

答弁　住吉福祉会館で建てかえ後に導入する。それまでは民間施設の利用も含め検討していく。

小児救急医療について

質問　中町分庁舎で行う計画の進捗状況は。

答弁　地元医師による電話相談を検討中である。

保谷中体育館建てかえ

質問　隣接住民に配慮してプールをドーム式・体育館を地下に、また工事中の騒音で影響を受ける教室にエアコンを設置してはどうか。

答弁　設計の中で検討する。

教育施設のバリアフリー

質問　ハートビル法の改正を受け、障害児総合支援教育を視野に建てかえ・大規模改修の計画を立て整備を。

答弁　障害児のいる学校を優先的に考えていきたい。

要望　市民農園を来年度より増設してほしい。

市民の創意を結集し、東大農場の跡地利用を！

佐々木　順一（公明）

質問　東大農場の移転問題のアイデアとして、国の特区制度を活用し、農業特区として農場の土地を債権化し、都心部で自然に接する機会がない自治体、民間企業と農協がタイアップして野外体験センターや郊外レストラン事業など、多様な事業計画案の策定を図れ。

市長　検討機関を立ち上げ、検討の際に参考としたい。

質問　総合的・一体的にまちづくりを実現するために、個別条例ではなく総括的な「西東京市まちづくり条例」の制定を図れ。

市長　調査研究したい。

質問　ひばりヶ丘駅北口のまちづくりで、市は都市計画道路・駅前広場の整備事業を進めるが、事業区域の地権者の営業補償についての見解を。

部長　住民の意向に沿うように、事業手法を検討する。

都道234号線の踏切存続を

質問　都道234号線と西武池袋線が交差する踏切は、都の計画案ではアンダーパスで合流し、閉鎖される。

下保谷消防出張所や保谷厚生病院のある、緊急車両の重要な南北通過の踏切であり、地域住民から踏切の存続を求められている。計画案の見直しを図れ。

市長　都に踏切存続の要望をしたい。



「何想う？」香取深雪さん（芝久保町在住）の作品

東京都政と西東京市政の改革と連携について政策提案

蔵野　雅章（民主）

質問　4年間の成果について、来年2月の市長選で堂々と市民の審判を受けるべきと思うが所見を伺う。

市長　じっくりと、いかに私のこの一つの体が西東京市のためになるのか、ならないのか、十分時間をいただいて、相談をする人もいるので、その方とじっくり相談して態度を決めたいと思う。

質問　東京都の第二次財政再建推進プラン、石原知事の改革は実を結ぶかの正念場。市長は東京都政との連携をどのような形で進めてきたか。

市長　市長会とか各種職制の組織を通じて、定期的な連携が図られている。

質問　西東京市と東京都の人事交流、派遣先について。

市長　助役を初め都との連携の機会は比較的多い。

質問　西東京市民白書が指摘する財政問題について。

市長　西東京市は他市から比べると安泰。

質問　補助金の見直しについて、具体的な方針は。

市長　関係団体の協力を求めつつ改善に向け取り組む。

意見　市長が私の政策提案に対して一定の理解を示してくれれば、私は協力勢力になるし、問答無用ということであれば抵抗勢力になっていく。

行政のあり方と理想像を市長に問う！

山崎　英昭（民主）

質問　効率的で効果的な行政の適正規模について。

答弁　人数や組織について、何人という明確なイメージは持ち合わせていない。

質問　行政組織をゼロベースで構築し直す必要がある。

答弁　組織のあり方についても見直す時期に来ている。

質問　職員採用の門戸を広げ弾力的な採用を。

答弁　調査検討していく。

質問　市民との協働による自治体運営に対する考え。

答弁　公共サービスの担い手としての協働を推進。

質問　助役級ＣＩＯ設置を。

答弁　助役をＣＩＯとする方向で進んでいる。

質問　ＩＴの活用による市民ニーズの反映について。

答弁　双方向性を生かして市民ニーズを把握し、適切な行政サービスを行いたい。

質問　安全性やコストの面からサーバ管理のアウトソーシングを検討すべきでは。

答弁　取り組んでいく必要がある。

質問　緑を覆い隠す建築物をつくらないように、地域を定め絶対高さ制限を。

答弁　絶対高さの制限は、土地所有者、権利者の権利制限につながり難しい。

質問　2庁舎体制について。

答弁　いつまでも続けるわけにはいかない。1庁舎で行うのが理想的な本来の姿ではないかと思っている。

いわゆる「小学1年生問題」少人数学級の取り組みを問う

二木　孝之（民主）

質問　教育には理念と財源が必要である。30人程度学級など、市の少人数学級の取り組みについて示せ。

教育長　教員の給与について市は負担をしない。国と都道府県に責任を持ってもらう原則は曲げない。



西武池袋線踏切（下保谷）

意見　40人学級というのは国の仕組みがおかしい。市内の保育園では、園児26人以内に対し保育士1名が対応している。小学1年生になっても頭の中は児童にはならない。まずは小学1年生に少人数学級の導入を。

質問　保谷駅南口再開発事業において地権者の方は、南口駐輪場として暫定利用している市有地を権利変換代替地として求めているか。



家庭科の授業を受ける子どもたち（けやき小学校）

都市整備部長　代替地として提供することになるだろう。再開発事業終了後に、駐輪場でなくなることも含め考えをまとめる。

質問　（仮称）リサイクルプラザの基本設計について説明がされた。基本設計に示された風力発電設備は的外れな設備ではないのか。

市長　実用化には疑問。市民が実際に見て、仕組みを理解することが望ましい。

環境防災部長　「風力発電を」という市民懇談会の意思を受けた設備である。

意見　西東京市で風力発電はなじまない。実施設計に向けて再検討するべきだ。

介護保険制度改正に際して 食事サービスの新設を検討せよ

保谷　七緒美（生ネ）

質問　都教委は、男らしさ、女らしさをすべて否定するような男女混合名簿を都立学校で作成することを禁止した。

しかし、男らしさ、女らしさというのは、国、地域によっても全く異なり、大変あいまいなものだ。

ジェンダーレス（性差がない）と、ジェンダーフリー（性差の呪縛から解き放たれる）とを混同すべきでない。特に学習の場面では、男だからこう、女だからこう、という思い込みはなるべく排除できるよう、男女混合名簿がふさわしいと考える。考えを問う。

教育長　出席簿は、各学校の校長先生の権限と責任において行われるものである。

質問　最近、厚労省で介護保険制度見直しの方向性が明らかにされた。残念ながら、介護度認定と実態がずれているという批判に、抜本的にこたえる内容にはなっていない。自治体独自のホームヘルプサービスで、制度の欠陥を補う必要がある。また、軽度の方を対象にした食事サービスが、介護予防メニューの一つとして有効なのではないか。

保健福祉部長　介護保険制度のみでなく、老人保健事業、介護予防、地域支え合い事業の大枠の中で考えていく。

一般質問（5）・予算特別委員会の主な審査状況

東大農場は緑のダム 緑の総量を確保する条例を

森下　典子（生ネ）

水道水の地下水割合の維持と永久利用を

質問　ダムに頼り過ぎずに水の自給率を高めるため、地下水源の継続的な活用について都と協定を結ぶ考えはあるか。

答弁　今年3月市内19本の井戸すべてが予備水源から認可水源となった。協約については調査してみたい。

質問　東大農場跡が開発された場合地下水への影響は。

答弁　開発指導要綱、都条例により一定の網をかけられるので、影響はほとんどないと思われる。

意見　年間約53万tの雨が農場の地下に涵養され、多摩地域の樹木を支えている

と言われている。東京全体の問題ととらえ、農場の価値を国、都に訴えるべきだ。

緑の総量を確保する自然再生条例の検討を

質問　開発等により自然や緑に影響がある場合には、事業主体者に保全、再生を義務づける条例を検討しないか。

答弁　緑の問題は環境基本条例に盛り込んでいるため条例を新たにつくる考えはない。

◆その他プラのリサイクルに向けた準備状況と選定枝リサイクルの今後の展望

◆ひばりが丘団地建てかえにかかわる都市再生機構の動向と市への影響

学力調査の点数公表はやめよ 自治基本条例の制定を

渡辺　嘉津子（生ネ）

学力調査の学校別平均点公表で傷ついた子どもがいる

質問　学力調査の目的は。

答弁　指導方法改善と学力定着等。公表が目的でない。

質問　一般公表の目的は。

答弁　市民・保護者に実態を知ってもらい改善推進プランへの理解につなげたい。

質問　公表の目的が不明瞭。子どもの意見は聞いたか。

答弁　直接は聞いていない。

要望　多様な子どもを包み込むのが地域の学校だ。点数公表は点数の取れない子や障がい児の居場所を狭くする。競争の教育はやめよ。

指定管理者制度について

質問　指定管理者は情報公開条例対象外であり、長・議員の兼業禁止規定の適用外なので、関係条例に”情報公開の義務づけと兼業禁止規定“を入れよ。

答弁　制度設計でこの点については工夫したい。

要望　業者の選定過程の透明性確保のため選定委員会の外部委員や選定過程の市民公開を行え。

自治基本条例について

質問　分権にふさわしい市の基本的運営の枠組みを定めた自治基本条例制定に向け庁内研究会を立ち上げよ。

答弁　内容も含め検討。

その他「価格だけでなく社会的価値基準（環境や男女平等など）を入れた政策入札の導入」「教科書採択」

予算特別委員会の主な審査状況

◆一般会計補正予算

（全員賛成で可決）

【主な質疑応答・意見】

三位一体による交付税減額の影響として新たに財政調整基金を1億4千万円取り崩し、当初と合わせ13億4千万円となっている。主要な基金全体では39億1千万円の取り崩しである。

東京都から移管される保健所関係事務に関する人員確保は、難病・原爆被害者、医療事務関係について臨時職員を各1名ずつ、未熟児訪問指導について保健師1人を雇用する。申請以外の本体業務の移譲に関しては、法律改正による場合を除き今後当分の間行わないよう申し入れている。

個人市民税について、人口増に伴い均等割はふえてきているが、所得割は税率の高い個人収入が落ち込んでいるために全体の税収が伸びないのではないかと考えられる。平成17年から均等割対象者の増などの税制改正による影響額は、17年で1千500万円強、18年で3千100万円見込んでいる。

図書館の緊急地域雇用創出委託は、市内の業者に委託し、市内で募集をかけた。障害者用資料整備で8人を10月～2月、地域行政


三共製薬跡地の工事現場

資料整備では4人を11月～3月のそれぞれ5カ月採用を考えている。

心身障害・通級学級の1クラス設置は、東小、本町小、東伏見小の中で学校の状況、施設の状況等から調整中。市民・保護者の懇談会の意見を聞いて進めてほしいから16年度は障害児教育検討委員会を立ち上げ、東京都の特別支援教育のあり方が明確になっていなかったことから当初予算には計上しなかった。障害児教育検討会の議論では小中学校1校ずつという話はあった。

資産税の減収は、マンションや戸建てはふえても、土地が細分化により課税標準額が下がったことが影響したと考える。

青嵐中建てかえ工事に当たって周辺の方々の家への影響を心配されているが、家屋調査については来年4月からの解体工事の事前事後、7月からの本体工事の事前事後に行う。対象範囲は、通常建物の高さの2倍程度ということで、青嵐中は校地の外周から約53m周辺とする。仮設校舎の影響は躯体打ちをしないので、家屋調査するほどの影響はないと考えている。建てかえの際のグラウンドは、周辺の農地の所有者と借用についての具体的な詰めをして、利用形態によっては小学校の体育館等も借用する形になると思う。部活動に支障がないようにしたい。

保健福祉センターの健康推進課窓口は、保健所関係の事務移譲を受けるに伴い、プライバシーにも配慮して新たに仕切りをしてカウンターを設置する。また、相談コーナーの設置も行う。事務の内容は、医療助成は申請書受理、形式的な内容審査だが、単に受付だけでは済まず周辺相談が発生する。移譲事務量と都の交付金のつり合いについては、本来1.3人分必要だが、人件費は都から交付されないので、かなり持ち出しとなる。

◆国民健康保険特別会計補正予算

（全員賛成で可決）

【主な質疑応答・意見】

今年度国保料を値上げし、国保会計繰越金が3億余生じたことにより一般会計からの繰入金を戻しているが、国保会計は独立会計であり、国保財政の健全化と負担の公平を柱に検討したことによるものである。

◆下水道事業特別会計補正予算

（全員賛成で可決）

◆受託水道事業特別会計補正予算

（全員賛成で可決）

【主な質疑応答・意見】

工事請負費の3千200万円の減額要因は、三共跡地開発地域に引き込む管について当初150㎜と聞いていたものが、75㎜でよくなったため、工事が不要となり減額になった。

◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計補正予算

（全員賛成で可決）

【主な質疑応答・意見】

退職予定者数は8月末現在で76人。口数は400口、1億651万475円である。

◆老人保健（医療）特別会計補正予算

（全員賛成で可決）

◆駐車場事業特別会計補正予算

（全員賛成で可決）

【主な質疑応答・意見】

駐車料金の90％がアスタ出店者の面積、売り上げの案分で、実際の自動車が回転したカウントに基づいて負担している。残りの10％が自前の利用者料金。

◆介護保険特別会計補正予算

（全員賛成で可決）

【主な質疑応答・意見】

介護家庭活用読本は反響もいいので、介護保険が必要になる前の方に活用していただけるよう民生委員の活用も検討願いたい。


青嵐中学校

常任委員会視察

企画総務委員会

（10月6日～7日）

山口県下関市
・電子入札
山口県宇部市
・行政評価の導入
・行財政構造改革推進計画

文教委員会

（10月6日～7日）

富山県小杉町
・子どもの権利条例
富山県高岡市
・こまどり養護学校における交流学習

厚生委員会

（10月5日～6日）

兵庫県尼崎市
・すこやかプラザ
大阪府守口市
・地域子育て支援センター

建設環境委員会

（10月12日～13日）

大阪府茨木市
・まちづくり塾
大阪府吹田市
・都市景観形成基本計画

用語の解説



CIO（chief information officer）
最高情報責任者

アウトソーシング
外部委託。大型コンピュータの運用、保守などの業務を専門業者などに委託すること。

アンダーパス
線路や道路を地下を利用してくぐる立体交差構造をいう。

ハートビル法
高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（平成6年6月29日法律第44号）
公共施設やデパートなどの不特定多数の人が利用する建築物について、だれもが円滑に利用できるようバリアフリー化を推進する法律。03年の改正により一部義務化が図られたほか、条例による上乗せを認めた。

常任・特別委員会の主な審査状況・意見書

常任・特別委員会の主な審査状況

企画総務委員会

「職員退職手当支給条例の一部を改正する条例」

【説明】 職員の退職手当の支給割合と上限支給率を引き下げるもの。影響額は、退職時特別昇給の廃止とあわせ、経過措置期間となる本年度中で1人当たり約118万円、平成17年で約199万円の減額となる。

【質疑応答】 特別昇給の廃止による影響は、16年度で41名、約1千230万円、17年度で21名、約630万円。

合併に際して東京都に準じた形で給与制度を改正し、以降の給与改定等についても東京都に準拠して行っており、退職金についても東京都に準拠するもの。支給上限率は、現行の62・7カ月を59・2カ月に改める。

【結果】 賛成全員で可決

「郵政事業分割・民営化反対に関する請願」

【趣旨】 郵便、貯金、保険の3事業の公平性の確保等のため、郵政事業の分割・民営化反対の意見書提出を求める。

【意見】 過疎地域の金融部門のことや全国一律の郵便業務が可能かなど十分に論議されていない。拙速ではないか。

国民や企業に対して説明不足で、納得が得られていない。メリット・デメリットなどがまだ明らかにされていない。

閣議決定されているので、意見書提出の際にはこれらの意見を加えてほしい。

【結果】 賛成多数で可決

文教委員会

「住吉公民館の移転に関する陳情」

【趣旨】 住吉公民館建てかえ・移転に関し利用者の意見の尊重、設計段階からの市民参加等を求める。

【質疑応答】 市民説明会に企画・保健福祉等の担当者も参加してきちんと説明をとの要望が出ていたが、あくまでも公民館・図書館の問題であり、生涯学習部で対応すべきであるとのことで単独で説明会を行った。

【結果】 賛成少数で不採択


下保谷図書館

「下保谷図書館を現在の位置で建てかえ、存続させることを求める陳情」

「下保谷図書館の存続を求める陳情」

【質疑応答】 自転車置き場については、場所、台数等は未定だが、駅の北側に確保しようとの協議が調った。

説明会については、2回で移転に関する説明は十分に行ったという認識である。しかし、反対も多数あったことも事実なので、今後も説明の機会を設けたい。

【結果】 賛成少数で不採択

「児童図書館としての存続に関する陳情」

【趣旨】 下保谷図書館を専任司書が常勤する子どものための図書館として存続させることを求める。

【質疑応答】 児童図書館として残すことは難しいが、それにかわる児童図書室としての可能性は示唆した。

専任司書を含めた人的配置については、今後検討していきたい。

【結果】 賛成少数で不採択

厚生委員会

「国民健康保険高額療養費等貸付基金条例の一部を改正する条例」

【説明】 国民健康保険から出産育児一時金の支給が見込まれ、出産予定日前に出産に要する費用が必要な場合に、出産育児一時金の8割以内の資金を貸し付ける制度を新たに設けるもの。

【質疑応答】 本制度の貸付基金として500万増額し、1カ月に19件ほどが貸し付け可能である。

【結果】 賛成全員で可決

「市立みどり保育園及び田無保育園の園舎建てかえと民間委託導入に関する陳情」

【趣旨】 園舎建てかえに伴い①通園バスの運行②保育時間の延長③通えなくなる場合の転園措置の優遇を求める。

民間委託の導入に当たって①情報開示の徹底②利用者要望の取り入れ③利用者の納得が得られる進め方を求める。

【説明】 老朽化保育園を順次建てかえる計画。17年度にみどり保育園、18年度に田無保育園、20年度に西原保育園を改築予定。また、みどり保育園は18年度、田無保育園は19年度から民間委託の計画。改築に際し仮園舎を西原町（現自転車保管所）に建設、3園で順次共同利用する計画。

【質疑応答】 転園希望者の優先については、ある程度客観的なものをつくっていかなければと思っている。

通園バスは、朝晩1台のバスを2時間程度運行すると年間1千万円程度かかる。

民間委託は公設民営であり、保育業務を民間に委託し、公立保育園としての責任は今までどおり担保する。

【結果】 賛成全員で採択

建設環境委員会

「農業委員会委員選挙による委員定数条例の一部を改正する条例」

【説明】 農業委員会委員を次の一般選挙から定数20人を14人に改めるもの。

【質疑応答】 農業委員会の必置規制の基準面積は都府県で90haであるが、国では必置基準の面積は2・35倍から2.5倍前後と見ている。西東京市は平成16年度175・23haであり必置規制から外れるのではないか。市としては置くという方針。

【意見】 今都市農業が衰退していく中で、委員の役割は大きい。減らし過ぎではないか。

【結果】 賛成多数で可決

「都市計画道路見直し案策定においては市民参画で行い、市民への周知を十分行うことを求める陳情」

【趣旨】 ①市民参加の検討委員会を立ち上げること。②市民への周知を十分図り住民説明会を開催すること。

【質疑応答】 都市計画道路の見直しについては、現在の多摩都市計画道路第二次整備計画が来年度終了を迎える。市内で完結する7路線については、市独自で検討されたいとの説明であり、住民参加で行っていくが、白紙で考えてくれということはできない。区部で行った評価項目を参考に、評価結果を公表して市民の意見を伺うという形で行いたいと思っている。

【結果】 賛成少数で不採択


ひばりヶ丘駅西側踏切

駅周辺再開発等特別委員会

「ひばりヶ丘駅北口地区まちづくりの早期実現を求める請願」

【趣旨】 地域住民の参加によるひばりヶ丘駅北口地区のまちづくりの早期実現とそのための行政組織の拡充を求める。

【質疑応答】 事業手法は、さまざまな組み合わせで権利者と市の協働で行う。役割分担として、広場と道路は行政で行い、残りは民間の自己責任で展開したい。

駅の階段、バリアフリーについては、北口まちづくりに含まれている。なるべく早い時期に階段改修ができる段取りとしたい。

これに対応する都市計画課の職員は18人で、専任担当はいないが、当面はこの体制で進め、事業が具体化する際には組織上の位置づけを明確にしたい。

住民参加はまだ少ないが、1人でも2人でも関心があれば、話をしていきたい。

広場と街路事業の区域内の立ち退き地権者の生活再建については、一般的に街路事業を行う場合は補償費で終わっているが、ここの特殊性を考えないと街の発展が阻害されると危惧される。今後基本構想策定に当たって地権者の意向を聞いたり、アンケートを実施していく中で、ふさわしい手法が見えてくるのではないか。基本構想のパブリックコメントは実施する予定だ。

北口と南口のアクセスについては、西側の踏切の改善が難しく、駅自体にアクセス機能を持たせるべくバリアフリー化を考えている。

コンサルタント会社の選定に当たっては、ひばりヶ丘の現状に合ったまちづくりでちょっとしゃれた賑わいのある一方、個性があるまちづくりを進めたいと強く主張した業者を選定した。

【意見】 ひばりヶ丘駅周辺は自然発生的に発展した。行政としてどう手を入れていくか、早期に骨格をつくって、住民の考え方を軸に再編整備を進めてもらいたい。

【結果】 賛成全員で採択

意見書 関係機関へ

中央自動車道高井戸・八王子間の料金撤廃を求める意見書

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣

多摩地域の地下水を水道水源として安定的に飲み続けることを求める意見書

【提出先】 東京都知事

地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書

【提出先】 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、内閣官房長官、金融・経済財政政策担当大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

郵政事業分割・民営化反対に関する意見書

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

永住外国人の地方自治体参政権確立に関する意見書

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

西東京市 議会だより

議決結果（議案・請願・陳情）・写真公募の結果

9月定例会 議案の議決結果一覧

○賛成　×反対　△一部反対

件名＼会派（　）は所属議員数		西東京市議会公明党（7）	日本共産党西東京市議団（6）	自由民主党西東京市議団（6）	民主党西東京（5）	自由民主党（5）	生活者ネットワーク（3）	市民クラブ（2）	無所属・無所属クラブ（1）	無所属・無所属市民の会（1）	結果
補正予算	● 一般会計予算（第1号） ● 国民健康保険特別会計予算（第1号） ● 下水道事業特別会計予算（第1号） ● 受託水道事業特別会計予算（第1号） ● 中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算（第1号） ● 老人保健（医療）特別会計予算（第1号） ● 駐車場事業特別会計予算（第1号） ● 介護保険特別会計予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
改正条例	● 職員退職手当支給条例 ● 国民健康保険高額療養費等貸付基金条例 ● 道路占用料等徴収条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	● 農業委員会委員選挙による委員定数条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	● 工事請負契約の締結について（2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	● 市道路線の廃止について（2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	● 地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	● 多摩地域の地下水を水道水源として安定的に飲み続けることを求める意見書 ● 中央自動車道高井戸・八王子間の料金撤廃を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	● 郵政事業分割・民営化反対に関する意見書	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
	● 永住外国人の地方自治体参政権確立に関する意見書	○	○	×	○	×	○	△	○	○	可決
	● 沖縄宜野湾市で起こった米軍ヘリ墜落事件に関し、普天間基地の早期返還を求め、米軍の主権侵害を許さないことを求める意見書	×	○	×	○	×	○	△	○	○	否決

請願・陳情の結果

（　）は付託委員会

採択されたもの

○郵政事業分割・民営化反対に関する請願（企画総務）

○永住外国人の地方自治体参政権確立のための意見書採択を求める陳情（2件）（企画総務）

○保谷駅再開発ビルに建設予定の公民館・図書館に関する陳情（文教）

○西東京市在住の私立小中学校就学者に対する教育費助成についての陳情（厚生）

○住吉福祉会館改築に関する陳情（厚生）

○西東京市立みどり保育園及び田無保育園の園舎建てかえと民間委託導入に関する陳情（厚生）

○ひばりが丘団地西口交差点前信号機の早期改善を求める陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

○芝久保町三共製薬計算センター接道沿い歩道の設置に関する陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

○芝久保町一丁目三共製薬工場跡地に建設予定のマンションに関する陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

○ひばりヶ丘駅北口地区まちづくりの早期実現を求める請願（駅周辺再開発等）

不採択となったもの

○住吉公民館の移転に関する陳情（文教）

○住吉公民館存続に関する陳情（文教）

○下保谷図書館を現在の位置で建てかえ、存続させることを求める陳情（文教）

○下保谷図書館の存続を求める陳情（文教）

○児童図書館としての存続に関する陳情（文教）

○教育基本法「改正」ではなく、教育基本法に基づく施策を進めることを求める意見書を政府等に提出することを求める陳情（文教）

○大規模学童クラブ解消を求める陳情（厚生）

○公的年金制度に対する国民の信頼を回復させるための陳情（厚生）

○都市計画道路見直し案策定においては市民参画で行い、市民への周知を十分行うことを求める陳情（建設環境）

継続審査となったもの

○全天候型総合和弓場の設置に関する請願（文教）

○（仮称）こどもの総合支援センターにおける障害児支援の陳情（厚生）

○浜岡原発非常事態における放射能災害を防ぐことに関する陳情（建設環境）

○「浜岡原発非常事態」における放射能災害対策に関する陳情（建設環境）

○ごみ排出量の半減を目標とし、「ごみ1／2宣言」を求める陳情（建設環境）

○「東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合に情報公開条例制定を求める意見書」提出に関する陳情（建設環境・最終日付託）

写真公募の結果

前号（16号）で1面を飾る写真を募集したところ、9名の方から13点の応募をいただきました。本当にありがとうございました。

「1点も応募がなかったら…」という懸念は杞憂に終わり、編集委員会では選考にうれしい悲鳴。結局選ばれなかった写真も佳作としてできる限り掲載しようということに。左記のほか2～5面にも掲載していますので、ぜひご覧ください。

佳作作品のご紹介



▶「小春日和」
平原喜義さん（ひばりが丘北在住）
北町5丁目の緑地保全地域周辺だそうです。



▶「お花畠」
山下清美さん（田無町在住）
新青梅街道沿いのお花畠だそうです。



▶「スカイタワー西東京の夕影」
大友信夫さん（保谷町在住）
東大農場東門付近から撮影したものだそうです。



▶「朝と遊ぶ（秋と夏の風景）」
大澤宏江さん（田無町在住）
ご自宅のリビングから見た風景だそうです。



編集後記

10月も中旬を過ぎて、ようやく本来の季節である「秋」を感じる陽気となりました。

今年は猛暑・オリンピック・台風・イチローと国内外で様々な「記録」が生まれましたが、被災地の復旧に駆けつけたボランティアの方々の姿や、人間の能力や体力の限界を追い求める姿は、現代社会で置き去りにされてしまった感のある「思いやり・いたわり」や「夢・希望」といった言葉を想起させます。

身近なところでは、朝小学1・2年生のお子さんから「おはようございます」と声を掛けられ、「おはよう。気をつけてね」と返事をしつつ「凄惨な事件・事故はあるにしても、世の中まだまだ捨てたものでもない」と1人納得…

1面写真に応募していただいた写真のいずれにも、そこに託されている「未来への夢と希望」を感じます。紙面の許す限り紹介させていただきました。

（I）

決算特別委員会のお知らせ

11月9日（火）、10日（水）、15日（月）、16日（火）午前10時から田無庁舎議会棟4階第1・2委員会室で開催しますので、どうぞ傍聴においでください。